

## 令和4年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県南会場

#### 科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 学校・地域との連携について学びました。学校との情報交換・情報共有は日常的・定期的に行う必要があります。新1年生を放課後児童クラブに迎える際には、保育園や幼稚園との連携も大切です。一人一人の発達と生活の連続性を保障するためには連携が必要です。入学前は生活や遊びが中心ですが、入学後は教科教育が中心になるため、その変化に慣れない子どもも増えているようで、支援者だけでできることには限界があります。地域と連携することで、子どもが安心して生活できるよう共に育て、守っていききたいと思います。
- ◆ 放課後児童クラブにおいて子どもを見守るだけでなく、いかにして学校及び地域と連携していくかが大切であると学びました。未来ある子どもたちを複数の目で見守り、共に育て、あらゆる方向から守っていかなければならないと感じています。そして、学校や保護者とのつながりとともに、個人情報保護や秘密の保持といったことも徹底していかなければならないことを考えさせられました。
- ◆ この科目では、学校や地域と連携していく必要性を知ることができました。コロナ禍で直接的なコミュニケーションをとることが難しくなっていますが、情報交換や連携を疎かにしてはいけなさと実感しました。学校や放課後児童クラブ間だけでなく、地域や関係機関などたくさんの目で子どもたちの生活や成長を見守ることが理想的であり、そのためには放課後児童クラブからどういった働きかけができるかを今後も考えていきたいです。
- ◆ 学校や地域との連携が大切なのは十分承知していますが、日常的にはもちろん、定期的な情報交換の場がないのが現状です。学校からは「学年便り」や「年間予定表」が届き、放課後児童クラブからも毎月お便りを届けていますが、それ以上の情報交換はできていないのが残念です。もっと遠慮せずに相談やお願い事などをしていければ、互いに話しやすい関係を構築できるのではないかと考えさせられました。
- ◆ 日々の業務の中で、学校や地域との連携の必要性は感じていますが、なかなか業務時間内に他との連携をすることは難しいと実感しています。また、新型コロナウイルスの影響でなかなか実施できていませんでしたが、社会福祉協議会やお年寄りとの交流を今年度は計画しており、これからも貴重な連携の機会を大切にしていきたいと思いました。